

脳神経外科より老健入所し在宅復帰へ！

老人保健施設コミュニティホーム白石が行う在宅復帰までの道のり①

事例の紹介

93歳 女性／要介護1 独居生活

既往歴：頭蓋骨骨折、脳挫傷、硬膜下血腫

〇月、自宅集合住宅の階段にて転落。頭蓋骨骨折にて脳外科入院。病院から直接自宅へ退院するには不安が残り、4月、在宅復帰を目指し老健コミュニティホーム白石への入所を希望される（退院後は独居生活の継続を希望。ご本人は「自宅へ帰りたい」、ご家族は「一人暮らしをさせるには不安」との事でリハビリの状況や退所後の在宅サービスの調整など、在宅復帰の可能性を評価しながら一緒に考えていきましょう！という形でスタートしました）

①即日リハビリ開始



リハビリ評価を行い歩行機能の確認を行います

4月〇日 脳神経外科より入所

★入所当日より短期集中リハビリ開始（20分／週5日）

●注意力低下にて、周りに気を取られ転倒の危険性がありました。また身体のバランスが悪く、右側へ傾き見られる。杖歩行でも右側へ傾き見られる。

●歩行練習と共に身体のバランスを整える運動や、骨盤を押して姿勢を真っ直ぐにする調整を行いました。

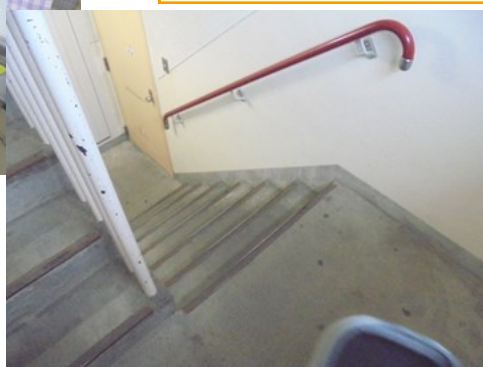
②家屋調査



1週間後 4月〇日

★リハビリ職員と家屋調査へ。

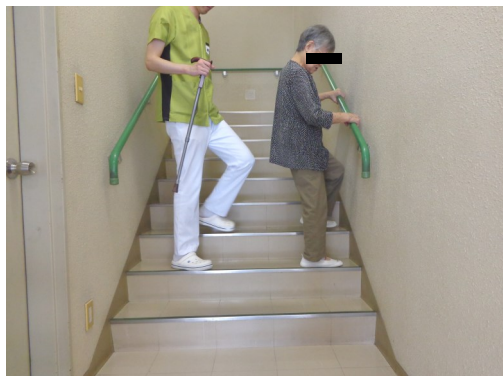
ご家族立会のもと動線の確認と家具の高さなどを調査し、リハビリに生かします。



集合住宅3階の階段を安全に昇り降り出来るかが課題。手すりの位置、段数や段の高さを測定。リハビリ時に疑似環境を作り出します。

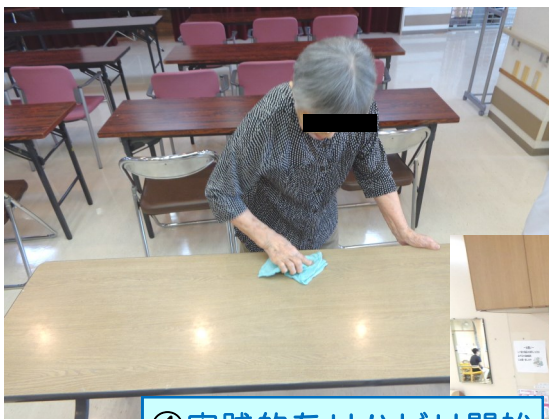
③実践的なリハビリ開始

（階段昇降編）



階段を想定した段差昇降のリハビリから、職員付き添いにて実際に階段昇降へステップアップ！





④実践的なリハビリ開始
(家事編)

2か月目（6月～）より、次のステップへ（家事リハビリ！）
★ご自宅での家事を想定し、テーブル拭きや茶碗等からの食器出し入れの様子。調理を含め、家事がお好きなようです。



ポイント！

リハビリの時間だけではなく、介護員の方でも常に歩く機会を見つけ取り組んでいました！

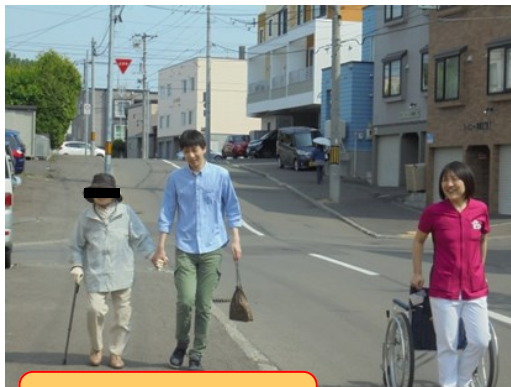


⑤実践的なリハビリ開始
(服薬編)

2か月目より 6月～

★お薬カレンダーを使い、ご自宅にてお一人での服薬を想定し習慣化へ！看護師にて確認と指導を行います。（ヘルパーや訪問看護など在宅サービスでの支援もありますが、独居生活をするため、まずはご自分での管理の可能性を探ります）

⑥実践的なリハビリ（散歩・買い物編）



在宅復帰おめでとうございます！



3か月目より 7月～

★外出リハビリにて運動と気分転換の他にも道路を歩く感覚、ドラッグストアでの品物選びから支払までと金銭管理を意識した狙いがあります。

■ 8月初旬 退所前訪問指導

施設ケアマネ、リハビリ職員などと1度ご自宅へ戻り、動線の確認、手厚い在宅サービス調整や住宅の環境整備（手すりなどの住宅改修、布団からベッドなど）などのアドバイスを行いました。

■ 8月中旬 退所前カンファレンス

ご家族を交え、退所後の注意点などを各専門職よりアドバイスさせていただきます。

バランス、注意力も改善し杖歩行での歩行も安定しました！

■ 8月中旬 退所を目前に蜂窩織炎にて入院されましたが、9月に退院され再入所にてリハビリに励まれました。

■ 12月 老健退所（在宅復帰）

